



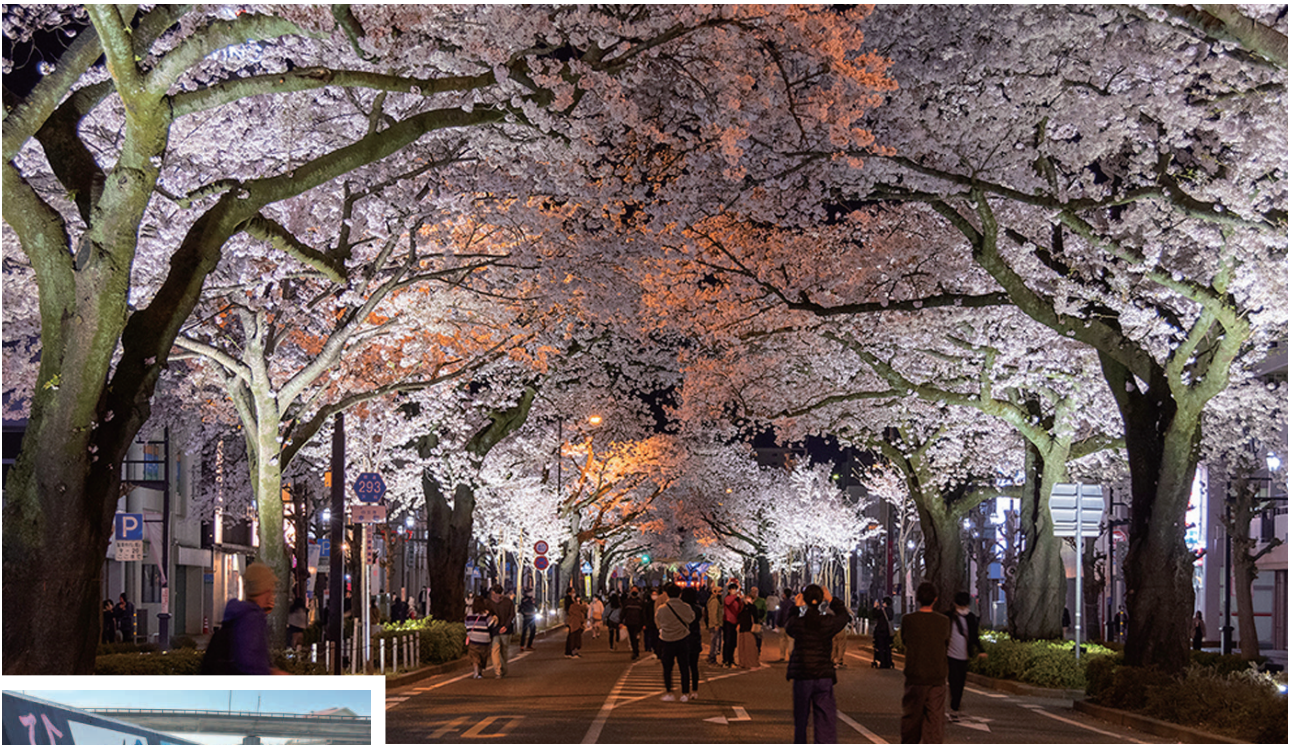
月信

2025

4

No.10

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



七つの地区に受けつがれ



人形のからくり見事な風流物



動物の乗り物や動物いっぱいかみね公園

Rotary
第2820地区



国際ロータリー第2820地区
2024-2025年度

ガバナー 大高 司郎



ラストスパート「あと少し」

2024-25年度
国際ロータリー第2820地区
ガバナー **大高 司郎**
(高萩RC)

ガバナー事務所がある日立市では桜が咲き誇り、春の訪れを感じる季節となりました。皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

2024-25年度も、残すところあと3か月となりました。これまで、多くの皆さまのご支援とご協力を賜りながら歩んでこられたことに、心より感謝申し上げます。

この一年間、私たちは「THE MAGIC OF ROTARY」のもと、多くのプロジェクトを展開し、地域社会や国際社会に貢献してまいりました。クラブの皆さまの情熱と行動力が、多くの人々に希望を与えたことと思います。

しかし、まだ私たちにできることがあります。年度末までの残り3か月、最後の仕上げとして、クラブの目標達成に向けて今一度力を合わせ、活動をさらに充実させていきましょう。特に、以下の点に重点を置きながら、クラブの発展と持続可能な成長に向けた取り組みを改めて確認し、実行していただければ幸いです。

- ・会員増強の推進と会員維持率の向上
- ・奉仕プロジェクトの継続と発展
- ・ロータリー財団および米山記念奨学会への支援強化
- ・クラブ優秀賞受賞を目指した目標達成

また、地区として初めての試みとなる「新春特別対談」を3月にガバナー事務所で開催しました。今回は、大高司郎ガバナー、瀬戸隆海エレクト、藤木章吉ノミニーの3名による対談が実現しました。対談の場となったガバナー事務所内には、地区内55クラブのバナーが飾られ、各クラブの皆さまのご支援とつながりを強く感じる空間となりました。

これまでの歩みを振り返るとともに、ロータリーの運営が単年度制から複数年度へと継続性を持ったものとなり、より長期的な視点での発展が可能となることを強く実感する機会となりました。単年度の枠を超え、次の世代へとしっかりバトンをつなぎ、未来に向けた力強い基盤を築いていきましょう。特別対談の詳細については、別ページにてご報告いたします。

さらに、4月には地区大会記念ゴルフ大会が開催されます。今年も名門「大洗ゴルフ倶楽部」にて開催されますので、多くの皆さまのご参加を楽しみにしております。このような機会を通じて、仲間との絆を深め、ロータリーの価値を改めて実感する時間となることを願っております。

ゴールはもうすぐそこです。最後まで一緒に走り抜き、達成感と喜びを分かち合いたしましょう。

新春対談

ガバナー・エレクト・ノミニー
大いに語る



大高 司郎
ガバナー



瀬戸 隆海
エレクト



藤木 章吉
ノミニー

2025-26年度に向けたラーニングが本格的に始まった3月。継続性を重視した「3-Year Targets」(3カ年目標)が強調される中、去る3月6日、大高司郎ガバナー事務所にて、「Three Years Summit Talk」風の充実した新春対談が行われた。司会は大河原浩地区幹事が務めた。

大河原 本日は木曜日、お忙しい中、皆様をお迎えし、新春らしい対談の機会をいただきありがとうございます。

まず始めに「地区運営の課題、その透明性や一貫性」について伺います。ガバナーからどうぞ。

① 地区運営の課題

大高 実は地区には、地区運営規定書(2016年)地区幹事マニュアル(2014年)等、大事な規定が継承されています。これをホームページに公開している地区もあります。地区の透明性を確保するには大切なことと思います。地区はクラブを支援するために存在します。会員の声を地区運営に反映させることが重要です。地区運営についてもクラブ単位で意見を集約する「地区会員アンケート」を実施することが必要かもしれません。地区の重要な規定を公開するには、どのような協議や手続きが必要か思いめぐらしているところです。

次に地区の一貫性についてですが、当地区では過去33年間、毎年ガバナー事務所(地区事務所)が移転してきました。一方、全国の他地区を見渡すと、34地区中27地区(約8割)ですすでに固定化されています。

ガバナー事務所の固定化は、運営の効率化、財政面での安定、情報管理の強化など、長期的に多くのメリットをもたらします。この点については、当地区の課題として戦略計画委員会で審議され、数年後には当地区も固定化を目指す方針です。

瀬戸 私も2005年地区の青少年奉仕委員長を受けてから、連続して国際奉仕や米山奨学会にかかわってきました。個人情報がたくさん含まれているので、なんといっても毎年担当者が変わると、パスワードが共通でないので、うまく情

報が活用できません。

ガバナー事務所を固定化して、情報を集積、管理するのはメリットがあります。

私は、現在、エレクト事務所には週に1回程度詰めるという体制で仕事が回っています。時代は急速に変わりつつありますね。

藤木 事務所固定化のお話は、先輩の皆さんから聞いております。一般的には、水戸とかどこかに固定化すると大変じゃないかというお話を伺っておりました。

ガバナーが事務所に通うのが時間もかかり、また、リモートでいちいち、対話するのも大変そうと思っておりました。しかし、ただ今のお話を伺うとメリットが理解でき、事務局の継承などもあり利便性が大きいということなのです。なるほどと思いますね。

先ほどの地区の規定、マニュアルの件ですが、これを書き換えるのは大変なようですね。

大高 これまでは、ガバナー年度で関係者が活用して、受け継いできたものですから、改定とか、公開ということになると、すぐには大変ですね。ともかく、無関心ということではなく、問題意識をもって継承してまいりたいものです。

② 地区のビジョンと戦略計画

大河原 次に「地区のビジョンと戦略計画」についてです。まず、ガバナーのビジョンを伺います。

大高 当地区では、長期ビジョンを策定し、ガバナーが交代してもブレない運営方針を確立することを目指しています。

1年ごとに方向性が大きく変わることを避けるためです。今見ていただいているのは、瀬戸年度までの戦略計画です。藤木年度の戦略計画は、これから策定することになります。

瀬戸 戦略計画の改正を見て、これでよいと了承しました。近日中にホームページにアップされるが、これが瀬戸年度の戦略計画になります。

大高 とても大事なものは、どのクラブにもこれを見てもらい、これを意識してクラブの戦略計画を策定してほしいということですね。

藤木 3年計画は、大高、瀬戸、藤木年度と受け継がれていくということではないですね。

大高 毎年、見直しというか、すこし改定され、改定版が受け継がれますが、藤木年度は26年から28年版となりますね。

瀬戸 私の年度では藤木さんは戦略計画委員として、地区戦略計画の策定に当たられることになります。

藤木 エレクトの年度ですが、私の考えを述べて、中身を検討するということになるのですね。

大河原 長期的にはどんな取り組みが必要ですか？

大高 特に、4つの優先事項に基づいた地区運営を継続することが重要です。これにより、安定した方針のもとで、ロータリーの理念に沿った持続可能な発展を実現していくことができます。

4つの中でも、当地区の優先事項はやはり参加者の基盤を広めることだと思います。

参加者の基盤の強化は、ロータリークラブの組織運営を安定させ、将来にわたって継続可能な形にするために、特に次の取り組みが必要です。

現在会員は1900名ですが、1100名になると地区は独立できません。少し油断していると、一気に会員は減ってしまいます。

会員増強と多様性の確保、若年層の入会促進、女性・多様な職業人の参加促進を図りたいです。

女性会員比率の向上を目標は10%、瀬戸年度は15%、これを高めて行きたいです。

また当地区は、1クラブ平均34名、全国平均より小粒です。高齢化は待っていませんので、

減少するのも早いです。危機意識を持って臨みたいものです。

次にデジタル化をぜひ推進したいし、それに、地区としては若手リーダーの育



成も必須ですね。地区の委員は3年までとして、委員長はさらに3年延びますが、そういう方向性を目指しています。

瀬戸 確かに人材育成は難しい。委員長の仕事をしながら、次の委員長をだれにお願いするか決められれば良いが、簡単ではない。ガバナーがどこまで指導性を発揮できるか、それはまた難しいことです。

地区の委員会によっては、海外との交流や現地視察も必要で大変な活動です。経験豊富な方に長い間お願いする安心感がありますが、どんどんリーダーを育てていく必要がありますね。

藤木 先ほど、基盤を広げるというお話がありましたが、会員増強に直結していると思います。方法としては、自分の職業奉仕によって社会に貢献できるという、ロータリーにはそういう楽しさがあるというイメージをひろめられたら良いと思います。

職業的なつながりの仲間はたくさんあるので、すから、とにかく楽しく実行できるのはよいことです。

瀬戸 若い人、ローターアクトもそうですが、ボランティアをやりたいが資金がないという。資金を提供すれば頑張れるという状況もある。そこで、「しっかり企画を出せ」と言ってやることも必要です。

大高 地区で新会員オリエンテーションを実施したら、名刺交換だけでなく、関係クラブへメールキャップしているという話もあります。

第1分区では4月に懇親を含めた初の新会員オリエンテーションを企画しています。

瀬戸 普段の仕事の中でなく、ロータリーでお会いできるというスタイルがいいですね。

③ 会員基盤向上とクラブの活性化

大河原 有難うございました。3番目に、「会員基盤向上とクラブの活性化」の話を知りたいと考えていましたが、すでに述べられたようにも思いますが、いかがですか。

大高 今年は、100名の会員増を目標に掲げましたが、これは大変です。どうしても、いろいろな都合の退会者が避けられませんので、200名の新会員を迎えないと会員純増100名は達成できません。

当地区は、3月6日現在で129名です。あと70名増やして7月を迎えたいですが、大変です。

新年度4月、5月には、転勤で移動してこられた方が、30名程度入会してくださっても、あ



と40名は厳しいですね。今、それができるのは衛星クラブで、今年度は5つ設立ができそうです。頼もしいことに、つくば学園RCのような100名を超える大規模クラブが先々を見据えて衛星クラブに取り組むとのことでした。

瀬戸 どのクラブも安泰ということにはなりません。戦略のないクラブは、やや心配です。次年度の米山奨学生の世話クラブをお願いしてきましたが、お話を聞いてみますと、どのクラブも盤石とはいきません。いろいろ心配もあるようです。

藤木 衛星クラブができて、その後2年、3年と経過して、そのあとの見通しは大いに気になる場所ですね。

分担金はどうするか、寄付の文化を育てられるか、親クラブの助成は可能か等、これからの課題ですね。

大高 今は、入り口ですね。「5年たった親クラブに入会してくるのかしら」そんな心配もあるが、焦らないで頑張るといことですね。

「高萩渚ロータリー衛星クラブ」の場合、親クラブは助成していません。なるべくお金をかけない運営をしているようです。はじめに、どういう取り決めをするかが大切だと思っています。

瀬戸 ロータリーは寄付の文化があるので、これを教えていくことは大切です。

藤木 親クラブとしては、面倒見てあげる気持ち、育てる気持ちが必要ですね。

④ ガバナーの想いとリーダーシップ

大河原 午前中の話が続いて、「ガバナーの想いとリーダーシップの方向性」ということで、2820地区を牽引するガバナーとしての想いを聞かせください。

大高 自分のことはさておき(笑)、明確なビジョンと強いリーダーシップが不可欠だと思います。ガバナーとして、単なる指揮者ではなく、方向性を示し、地区全体が一丸となって前進できるよう導くことが求められます。

また、持続可能な地区運営には「リーダーの育成」も欠かせません。ガバナーは1年で終わるので、次世代のロータリアンが活躍できる環境を整え、組織として成長し続ける仕組みを構築することが重要です。

瀬戸 私も同じですが、リーダーにならざるを得ないわけです。RI会長のメッセージが中心になるわけですが、押しつけは好ましくない。クラブには自由な活動が保証されています。独自性があります。

RIの基本理念を生かしながらクラブの独自性を重んじながら進めたいと思っています。

藤木 私はノミニーの立場で、大高さん、瀬戸さんの方針を受け継いで、リーダーシップというか方向性を示せたら良いと思います。

ガバナーの役目は、1番は会員増強でしょうか。100名を増やすのは重い課題です。寄付目標の達成も大変です。

大高 寄付は地区によって目標が違います。当地区は目標のレベルが高い方です。

会員増強はどこでも同じ課題です。自然減少をカバーしなければなりません。最低限、現在会員数を維持しなければなりません。クラブには、会員増強をいつも言っていますがなかなか浸透しません。

そのことから申しまして、地区の役割として、クラブのラーニングを支える体制をしっかりすることです。

各クラブが効果的に会員増強を進められるよう、戦略的な支援を行います。

ともかくも、100名増員の旗振り、これだけはおろさくないです。実はその効果、結果については、6月30日ですが、楽観的にとらえています。

もう一つ、大事だと思うのは、リーダーシップが可能かどうかはともかく、思い切って若手に任せる心構えですね。

瀬戸 2820地区は寄付についてはほんとにまじめに取り組んでいます。米山は全国2位ですね。

リーダーは大いに発信すべきです。ロータリーは楽しいということです。また、ロータリーに

入ると会員同士の交流、日頃は滅多に会えない、こんな人にも巡り合えるという経験、つながりが濃密になることです。

藤木さん、来年国際協議会は楽しみにしてください。自由に発言できます。「何かいいことを発言しなくては」というような気づかいは必要ありませんし、ディスカッションも自由です。

藤木 でも、協議会は研修ですよ。

瀬戸 そうですけども・・・、来年の会長、マリオ・カマルゴさんは、ブラジルの方ですが、お祭り好きで、全体会の前に踊ってました。

藤木 その話を聞いて、いくらか気が楽になりました。

⑤ フリートークで

大河原 ありがとうございます。ここまでといたしまして、ここからは、フリートークでお願いいたします。

大高 公式訪問を振り返ってみますと、今年度変えたことがあります。お土産をご遠慮いたしました。これまでの経過もありまして、どうなのかと思案されたクラブもありましたが、途中で再度ご辞退をお願いし実行できました。

また、懇親会も辞退いたしました。これは、コロナ禍で、池田正純年度からですが、スムーズにいった感じです。体調管理ではよかったという感じです。

もう一つ、クラブの現況報告書をしっかり読み込みました。そうすると、古い定款、変更前の細則が載っていたり、特別月間、7月「母子の健康月間」が抜けていること等いろいろ気付くことができました。そこで、これは是正していただきました。

昨年、茨城県や北関東を中心に、空き巣を繰り返した窃盗グループが逮捕され、そのアジトから、ロータリー会員の住所録や医師会の名

簿が見つかりました。

ちょうど公式訪問を終えて帰宅した際、テレビのニュースでこの報道を目にし、驚きを隠せませんでした。

個人情報の管理は、私たちの活動においても極めて重要な課題です。特に、クラブ現況報告書や名簿の取り扱いには慎重を期し、不必要な個人情報の掲載を避けるなど、適切な管理を徹底する必要があります。公式訪問でも申し上げたところです。

瀬戸 私の年度でも、この件についてはPETSではっきり申し上げます。懇親会辞退も、おかげさまで、体調管理のことを考えたら大変良いことです。

水海道RC、うちのクラブの公式訪問は最終訪問ですが、地区大会の後に設定しました。地区大会の反省も含めて実施することになるでしょう。

藤木 私も、大高年度、瀬戸年度を継承し、お土産、懇親会辞退を継続していきます。

酒も嫌いじゃないので、勧められると受けてしまうこともあるので、はっきりとそう決めておくのはよいことです。

大高 ありがとうございます。4月には、藤木さんの後任、ガバナーノミニー・デジグネートも公表されるでしょう。

できれば、次年度以降も定期的に3者対談を継承、恒例化して、地区は、単年度重視から継続性尊重に移行していきたいと願っています。

瀬戸 戦略委員会と協力してぜひそうしたいですね。

藤木 実は、3月始めから、体調を気遣いセーブしてきましたが、本日は大変いいお話ができました。国際協議会は楽しかったと瀬戸さんのお話を伺い、ほんとに安心いたしました。なんといっても体調管理ですね。ありがとうございます。

大河原 有難うございました。本日の対談を通して、大高ガバナーの願い、次年度の構想を描くエレクトの方向性、受け止める藤木ノミニーの継承を伺い、地区全体で一体となったリーダーシップが求められていることがわかりました。

皆様の思いと方向性を共有し、私たち会員一人一人が戦略計画に提起されたビジョンを実現していくことが大切であると感じました。

本日は長い時間本当にありがとうございました。

(文責 月信編集委員会)





国際協議会の報告

2024-2025年度
ガバナーエレクト

瀬戸 隆海
(水海道RC)

2月9日から13日までの5日間、アメリカのオーランドにおいて、ガバナーになるための研修として国際協議会に参加してきました。まずは国際協議会本会議開会セレモニーにおいて、R I会長エレクトであるマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏は、R I会長メッセージとして「よいことのために手を取り合おう (UNITE FOR GOOD)」という言葉を発表されました。R I会長テーマではなくR I会長メッセージです。では、「テーマ」と「メッセージ」と何が違うのでしょうか。「テーマ」は、その年のR I会長エレクトがご自身の年度の活動指針として目指したテーマを言葉で表したものです。「メッセージ」は、R I会長エレクトとR I戦略委員会、公共イメージ委員会と協議の上、決定されたものであります。つまり、手続き上はメッセージの方が重いのであります。メッセージに変わったのは、ロータリーは3年間の目標と計画 (3-year Rolling Target / Plan) の下に活動の方向性を示し、革新しながらも一貫した伝統

を貫くという思いでメッセージという形にされたと思います。

そのR I会長メッセージの発表の場に立ち会う機会を得る事が出来るのが、ガバナーエレクトの役得ではないでしょうか。発表された瞬間、会場に居合わせた全員が総立ちになり、拍手が鳴り止みませんでした。ロータリーが最も熱くなる瞬間であります。

その後、分科会に分かれ、マリオ会長エレクトは我々に何を期待しているのかということに意見交換されました。3年間の目標と計画というのは、当地区でいえば大高ガバナーの時に地区目標を立てられ、私の年度でその地区目標をどのように展開し地区のスキルアップをし、そして次の藤木ノミニーのガバナー年度で目標を達成しようというのが趣旨であります。これは、地区にのみならずクラブにおいてもそうであります。

国際協議会では、1日に2回の全体会があり、それを受けて分科会形式でディスカッションをするというラーニング形式を採用しています。4日間に7回の本会議に9回の分科会。その間に、世界からのエレクトたちの交流もあり、事前にディスカッションのメンバーが知らされた分科会では、事前にアポイントを取ろうとする相手探しで、活発な動きもありました。

日本の梅雨入り前のとても心地よい季節で、会場のホテルはゴルフ場の中にある建物で、ゴルフ好きにとっては拷問の時間ではなかったでしょうか。

毎年、当地区からは一人しか参加できない国際協議会、是非ともその体験に触れてもらいたいと思います。





特別月間

環境月間に因んで

社会奉仕委員会 総括委員長

関本 淳一

(土浦RC)

ロータリアンの皆さま、こんにちは。月信コラムニスト関本@土浦RCです、今月もどうぞよろしくお願いいたします。

月信では、毎月RI理事会で指定された特別月間のテーマに基づき、各担当者が記事を寄稿しているのですが、この「テーマ」も時代を反映して変遷してきているのはご存知でしょうか。ざっと纏めてみると、このようになります。

| | 2015年まで | 2015年～2021年 | 2021年以降 |
|-----|-----------|-------------------|---------------------|
| 7月 | なし | なし | 母子の健康 |
| 8月 | 会員増強・拡大 | 〃 | 会員増強・ 新クラブ設立 |
| 9月 | 新世代のため | 基本的教育・識字率向上 | 〃 |
| 10月 | 職業奉仕・米山 | 地域社会の経済発展 | 〃 |
| 11月 | ロータリー財団 | 〃 | 〃 |
| 12月 | 家族 | 疾病予防と治療 | 〃 |
| 1月 | ロータリー理解推進 | 職業奉仕 | 〃 |
| 2月 | 世界理解 | 平和と紛争予防・解決 | 〃 |
| 3月 | 識字率向上 | 水と衛生 | 〃 |
| 4月 | ロータリー雑誌 | 母子の健康 | 環境の保護 |
| 5月 | なし | 青少年奉仕 | 〃 |
| 6月 | ロータリー親睦活動 | 〃 | 〃 |

※太字が新設テーマです

2015年まではロータリークラブ・ロータリアンに向けたテーマが多く、今から10年前の2015年からは、より俯瞰的な目線からの問題提起・解決を意識したテーマが掲げられています。年度初めの8月に会員増強が掲げられているのは、最優先で取り組んで欲しいというRI理事会からのメッセージだと思われ、2021年からは新クラブ設立が加えられています。これを受けて当地区でも大高ガバナーが衛星クラブの設立を強く推進していますね。

さて、前置きが長くなりました。昨年から新たな重点分野として「環境の保護」が特別月間

テーマに加えられました。ひとことで環境の保護といっても、現時点で皆さんが実施している活動で環境に悪い取り組みなどないでしょうし、漠然とし過ぎていて具体的に何から考えて、どのように行動したらよいのか難しいと思います。そこで今回は「ロータリー行動グループ」について、簡単なお案内をさせていただきます。

「ロータリー行動グループ」は、特定の専門分野における知識と経験を備えた国際的なメンバーから成る独立したロータリー関連グループで、各自の知識と熱意を生かし、インパクトのある奉仕プロジェクトを計画・実施するためにクラブと地区を援助する集団だそうです。このグループは誰でも参加でき、クラブ・地区・国を超えて仕事のスキルを生かし、奉仕活動を成功に導くためにアドバイスをを行うことができること。つまり、このグループに自ら所属することも、このグループの助けを借りてプロジェクトを作成・推進もできるということです。

世界には1,002の行動グループがあり、メンバーは150ヶ国、31,900人以上に上るそうですが、そのうち特に環境に関連するグループを二つご紹介します。

The Rotary Action Group for Endangered Species（絶滅危惧種のためのロータリー行動グループ）：絶滅危惧種の保護を専門とする会員やこの問題に関心のある会員によるプロジェクト支援。この問題に関心のある人たちの世界的ネットワークの構築にも力を注いでいるそうです。

The Environmental Sustainability Rotary Action Groups（環境の持続可能性のためのロータリー行動グループ）：環境の持続可能性、気候変動に対する認識向上、温室効果ガス排出の削減と気候崩壊の軽減を目指していて、ロータリー行動グループの中でも急成長しているそうです。

特に後者は比較的取り組みやすい課題だと思いますので、皆さまもこの機会に一度コンタクトを取って、環境問題について手を携えるパートナーを見つけてみてはいかがでしょうか。



ロータリー財団セミナー報告

ロータリー財団委員会
資金管理・推進委員長

秋葉良孝
(水戸RC)

2024年12月21日、水戸三の丸ホテルにて第2820地区ロータリー財団セミナーが開催されました。次年度補助金申請要件となる本セミナーには、地区内の各クラブから財団委員長が集い、ロータリー財団活動やポリオ根絶の意義について深く学ぶ貴重な機会となりました。

まず、大高ガバナーは、ロータリー財団の活動がいかに地域や世界に影響を与えているかを話され、ロータリアンとしての誇りと【ポリオ根絶】の使命感を共有されました。さらに、特別講演の講師として第2830地区五所川原イヴニングロータリークラブからお越しいただいた成田秀治様の紹介があり、参加者全員がセミナーへの期待を高めました。

第1部では、ロータリー財団地域コーディネーター補佐（第一地域）である成田秀治様が「ポリオ根絶活動」をテーマに講演を行いました。ポリオ根絶運動がこれまで達成してきた成果や直面している課題、そして今後の具体的な取り組みについて詳細に解説していただきました。特に、ポリオ根絶のために必要な支援の重要性が強調され、参加者はその意義を改めて認識しました。

続く第2部では、第2820地区におけるロータリー財団活動の現状が報告されました。ポリオプラスソサエティーの取り組み状況や、地区補助金の実績と申請状況が具体的なデータを交えて紹介されました。特に、グローバル補助金事業や奨学金プログラムの成果についての報告は、

事業の成果を実感として与える内容だったと感じました。また、今後の財団活動に関する計画や課題についても共有され、参加者一同が活動への理解をさらに深めることができました。

午後の第3部では、「ポリオ根絶に向けて」をテーマとしたパネルディスカッションが行われました。このセッションでは、新井和雄 総括委員長がファシリテーターを務め、講師の成田秀治様、大高司郎ガバナー、大野治夫ラーニングファシリテーター、瀬戸隆海パストガバナー、ローターアクト原悠樹 地区代表がパネリストとして登壇しました。それぞれの視点から語られる実践的な意見や提案は非常に示唆に富んでおり、特に次世代を担う若手メンバーの活発な意見で議論が深まりました。ディスカッション後には参加者から活発な質疑応答も行われ、参加者の高い関心が感じられる場面となりました。

閉会セレモニーでは、藤木章吉ガバナーノミニと大高司郎ガバナーがセミナー全体を総括し、今後のロータリー財団活動への期待を語りました。参加者全員が改めて活動への意欲を高める機会となりました。

本セミナーを通じて、あらためて、ロータリー財団の存在意義やセミナー参加の意義を共有し参加者はロータリアンとしての使命を再確認しました。ポリオ根絶をはじめとする財団活動に引き続き力を尽くし、さらなる成果を目指して前進していきましょう。





第1分区 I M報告

第1分区 ガバナー補佐

佐々木 幸一

(日立RC)

令和7年1月26日(日)国際ロータリー第2820地区第1分区のインターシティミーティングがホテル テラス ザ スクエア日立にて開催されました。

ご来賓及び役員として大高司郎ガバナー、清水清パストガバナー、藤居彰一パストガバナー、瀬戸隆海ガバナーエレクト、IMリーダー大久保博之直前ガバナー、大河原浩 地区幹事、石君平地区会計長、小川春樹 日立市長をお迎えし、更に今回は分区内各クラブに加え高萩渚ロータリー衛星クラブ、茨城県北ローターアクト及び米山奨学生の皆様にもご参加いただき開催致しました。

ガバナー補佐の開会点鐘により開会し、大高ガバナーより昨年10月の笠間に開催された「世界ポリオデー 2820」に関し、第1分区からも多くの参加者がありポリオ根絶イベントを盛り上げられたこと、更に11月の地区大会が第1分区内の皆様からの大いなる支援のもと大成功に開催されたことに対しても感謝の意を表されました。そして本日の分区内7クラブによる「我がクラブ自慢」発表をきっかけとして、第一分区内の絆の強化と活性化について述べられました。

ご来賓の小川春樹 日立市長からは「日立市制施行85周年、十王町との合併20周年、スマートシティの構築を目指す共創プロジェクト、4,400人の参加を得たひたちシーサイドマラソン開催」等について触れられ、ロータリークラブの普段からの地域貢献に対する感謝と更なる支援と協力について述べられました。

第1分区 I Mの肝いり企画である、「我がクラ



ブ自慢」を分区内7クラブに発表を頂きました。各クラブの奉仕活動がユーモラスな中にも活動の継続性と地域に与えている影響や様々な効果について特色ある発表が続きました。最後に大久保博之IMリーダーは総評の中で、今回の発表が分区内の現状把握と各クラブへの刺激になって、新たな奉仕活動に繋がる可能性がある」と述べられました。

各クラブ発表内容

【日立南RC】

よかっぺ祭りポリオPR、日立共同作業所『ふきのとう』への寄付、U12バスケット少年団交流大会

【高萩RC】

高萩渚ロータリー衛星クラブの設立

【北茨城RC】

チャレンジ仕事アラカルト、さくらプロジェクト、栄蔵室整備事業

【日立港RC】

青少年奉仕研究会、R6年夏巡業大相撲日立場所ボランティア

【日立北RC】

フィリピン・ストリートチルドレン支援事業終了の報告、蛍の里整備事業

【日立中央RC】

こども110番、海岸清掃、ひたち郷土かるた

【日立RC】

少年野球教室、WCSこの指とまれ、GG事業、笑顔のケーキプロジェクト

盛大に開催された新春懇親会では、ホテル自慢の料理と日立の地酒をご堪能いただきました。アトラクションでは、分区内有志による、プロレベルのロータリアンバンド「胸きゅん天狗団」の演奏と各クラブ代表による、のど自慢大会が披露され、皆さんで応援して盛り上がりました。最後は恒例の「手に手つないで」で締めくくり、お開きとなりました。

参加者全員の一体感と今まで以上の絆を強く感じるIMでした。

結びに第1分区会長・幹事と実行委員会の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。



第6分区 I M報告

第6分区 ガバナー補佐

清野 宏之

(土浦RC)

2025年2月1日土浦市のL'AUBE kasumigaura (土浦市川口2丁目11-31) において、大高司郎ガバナー、安藤真理子 土浦市長、第5分区 笠倉勉ガバナー補佐をご来賓にお迎えし、第6分区内のロータリアンの皆様にご参加頂き、高橋賢吾 I Mリーダーの下、土浦南ロータリークラブ I M実行委員会より I Mが開催されました。

今年度の第6分区 I Mテーマは「ロータリークラブを活性化させるための会員増強」とさせていただきます。ロータリークラブの存続のために、欠くことのできない普遍的なテーマについて、再確認をして参りたいと考えてこのテーマを選びました。

内容は皆様おなじみの甲府ロータリークラブ パストガバナー高野孫左エ門様をお迎えし、会員増強についてご講演をいただきました。約150名の参加者は熱心に高野パストガバナーのお話に耳を傾けていました。また高野パストガバナーは会員増強に必要なことをロータリークラブの基礎から丁寧にひも解いておられました。

そして同じく会員増強について、つくば学園ロータリークラブとつくばシティロータリークラブに事例発表を頂きました。

つくば学園ロータリークラブの会員増強について、今回は衛星クラブの設立による会員増強方法をユーモアを交えてご紹介いただきました。特にMy ROTARYの中の資料を使った説明は斬新でした。また、つくばシティロータリークラブの会員増強の仕組みは論理的かつ整然とした仕組みに基づいた会員増強のシステム化ともい

うべき内容でした。つくば学園ロータリークラブ菅原会長、つくばシティクラブ石山会長、素晴らしいプレゼンをありがとうございました。

I Mは分区内の多くのロータリアンが一堂に会し、共通のテーマで話し合い、ロータリー情報を学ぶ場です。普段はなかなか聞くことのできない会員増強の基本的スタンスについてのご講演と自分のクラブ以外の他クラブの会員増強活動を目の当たりにする良いチャンスだったかと思っております。

会員増強無くして、未来のロータリークラブの存在意義なし…大いなるテーマと正面から向き合う本年度大高ガバナーの下、第6分区も各クラブが総力を挙げてあと半年、会員増強の目的達成に向けて邁進していく勇気をいただいた一日でした。

最後になりましたが、極寒のしかも土曜日にご参加頂いた第6分区ロータリアンの皆様の友情に感謝するとともに、今回の I Mが皆様のお役にたてたならば幸いです。





第7分区 I M報告

第7分区 ガバナー補佐

久保田 春 康

(取手RC)

令和7年2月8日(土) 龍ヶ崎市内の結婚式場アルシェで午後1時30分 大原会長(龍ヶ崎中央RC)の歓迎のことばではじまりました。

第7分区は6クラブ150名の小さな分区です。今回も取手RC、守谷RC、龍ヶ崎中央RCの3クラブ合同でIMを企画、運営をした次第です。他の分区の参考になれば幸いです。

大高ガバナー、保延IMリーダーからご挨拶を頂き、次にガバナーの提唱する「元気な一歩、共に成長するクラブの力」に基づき6クラブに

おける奉仕活動の報告を各会長から頂きました。

第2部として流通経済大学教授 龍崎孝先生の講演「日本の政治はどう変わるのか… 2025年の課題」がありました。2025年の政治は結論としては「解らない」ということでした。

その後、約80名出席の懇親会で各々会員が情報交換しあって、楽しいひと時を過ごし、18時15分に(手に手つないで)を歌って閉会となり散会しました。





第8分区 I M報告

第8分区 ガバナー補佐

金子 大作

(波崎RC)

冬晴れの晴天のもと、2月9（日）に、神栖市波崎のホテルジャーニーロードにおいて波崎ロータリークラブがホストクラブによる国際ロータリー第2820地区、第8分区インターシティミーティングが第2820地区大高司郎ガバナー、そして地区役員の皆様、内野芳男2025-26年度ガバナー補佐のご臨席を賜りそして分区内5クラブの会員の皆様のご参加をいただき盛大に開催されました。ただ白戸IMリーダーが腰痛の為欠席された事は、大変残念でした。

大高司郎ガバナーは地区方針として「BE THE INSPIRETIION」（インスピレーションになろう）としました。クラブが活気に満ち、共感を呼び起こし、クラブメンバーが協力して成長していきましょう、と提唱されています。

ガバナー公式訪問等数回各クラブを訪問させていただきましたが、国際ロータリー・地区・クラブで会員の維持と増強が一番の課題ではないでしょうか。会長・幹事ははじめ会員一丸で会員増強の為に公共イメージの向上・社会奉仕・青少年育成等様々な事業を行い努力している事に敬服をいたしました。そのことを踏まえ、第1部の研修会では各クラブの地区補助金事業をパネリストより紹介していただきました。最初に1クラブ5分間でプロジェクターを使用しながら地区補助金事業を紹介していただき、波崎

ロータリークラブの篠塚ファシリテーターからの質問を受け回答、更に会場からの質問等に答えながらアツという間の1時間が過ぎ、有意義な時間の共有が出来ました。他クラブの事業を知る事で新たな事業への展開が生まれるかもしれません。

今回のIMを通じて会員相互の親睦とロータリー活動の更なる起爆剤になればと思います。

第2部の大懇親会は、ホテルジャーニーロードの500名収容可能な室内バーベキュー会場で開催されました。冬のバーベキューでちょっと心配でしたが、室内という事で、温度・食事・お酒と適温で提供する事が出来ました。大いに食べ・飲んで大高ガバナーと会員の親睦を深める事が出来ました。

本日のIM開催に当たり、分区内の会長・幹事・会員の皆様のご協力をいただき、誠に感謝申し上げます。





新会員オリエンテーションを開催して

クラブ奉仕委員会 総括委員長

星野 幸子

(水戸西RC)

令和7年1月19日にリリーベール小学校で開催された2024-25年度「新会員オリエンテーション」のご報告をさせていただきます。

今回、新会員50名の参加を頂き、大久保博之クラブ奉仕担当カウンセラー、高橋賢吾RLI地区代表ファシリテーター、大野治夫地区ラーニングファシリテーター、藤木章吉ガバナーノミニ、そして、ひたちなかRCの30周年記念式典を終え駆けつけてくださった大高司郎ガバナーをお迎えし開催致しました。

担当のクラブ奉仕委員は11名、RLIファシリテーター 11名（2名重複）裏方として鈴木昌実さん（つくば学園RC）と21名、計76名の参加となりました。

大久保担当カウンセラーは、リリーベール小学校の理事長でもあり、素晴らしい学校の様子をビデオでご紹介してくださり、オリエンテーションは始まりました。

会場となったリリーベール小学校の荘厳な雰囲気、学びのモチベーションもアップし、グリーティングワークショップでは、滝徳宗 公共イメージ・ICT推進委員が楽しいワークショップと人間関係を良好に築く上での、心理学、脳科学的な知見から解説をしました。

楽しい雰囲気の中、ロータリアン誰もが中々理解するのが難しい「DEIとロータリー」を星野がレクチャー致しました。今回は、「4つの

テスト」に照らし合わせ、ロータリーの求める「多様性」「公平さ」「インクルージョン」について話をしました。

各クラブにもそのクラブが持つ独特の風土があり、それを守りつつも「DEI」を受け入れていくこと、若いロータリアンの皆さんが率先して実行していくことの重要性を話しました。

休憩の後は、高貫修RLI委員長からのRLIの趣旨説明と研修ルールを説明し、7班に分かれ、セッションを開始しました。セッション1は、「ロータリーにおけるリーダーシップ」そして、セッション2は、「私のロータリー世界」でした。45分という時間を有効に使いながら、ディスカッションを深めていただきました。

最後の総評は、大高ガバナーから挨拶と今回6回目の開催となるこの会の意義についてお話を頂きました。そして、高橋賢吾RLI地区代表ファシリテーター、大野治夫地区ラーニングファシリテーターの総評を頂き、定刻通り終了といたしました。

着いた時よりも生き生きと輝いた顔をした新会員の皆さんを見て、ロータリアンとして生きる大切な何かを掴んだのでは、と嬉しく思いました。

尚、アンケートは29名の方にご回答いただきました。結果は、HPに掲載しております。



奉仕プロジェクトセミナー報告

国際奉仕委員会 総括委員長

平島 隆之

(土浦RC)

木々の緑が若草色に色づく、暖かな季節になりました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか？日頃より国際奉仕活動にご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。

2023-24年度から、職業奉仕委員会、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会の3委員会は、奉仕プロジェクト組織として合同で研究会／セミナーを開催しており、今回もこの3委員会を主体とする合同のセミナー(会場:ロープかすみがうら)を開催しました。

7月の「奉仕プロジェクト研究会」から、それまでは参加者にとって情報を一方的に与えられるだけの受身のイベントだったものを、参加型のイベントに大きく開催形式を変更しました。なぜなら、参加者にとって、より多くの気付きや学びを持ち帰ってもらうためです。

今回のセミナーでも参加型のイベントとして企画し、午前中の講演と午後のグループディスカッションを主要プログラムとして開催しました。

<今回のセミナー設計のポイント>

| | |
|-----------------|-----------------------------------|
| インタラクティブ要素を取入れる | 講義と参加型アクティビティをバランスよく配置 |
| 少人数グループワーク導入 | 参加者をグループ分けして課題に取り組む時間を設ける |
| アイスブレイクの考慮 | グループワーク時に参加者同士が知り合えるようなアクティビティを行う |
| 今後の改善のヒントを得る | セミナー終了後にアンケート実施 |

午前中の部では、元並木中等教育学校校長で、株式会社FCEの中島博司様(私の出身高校の先輩でもある)が登壇。「文章力・話し方を向上させる方法について-R80とアクティブ・ラーニングの活用-」について講演をいただきました。アクティブ・ラーニングの専門家であり実践者でもある中島様自ら考案された<R80(アールエイティー):自分の考えをバツと80字で論理的に書けるようになるメソッド>の説明を中心に、文章力・話し方を向上させるためのヒント

をいただきました。分かりやすいスライドをもとに丁寧で簡潔&論理的な説明で、参加者にとって学びの多い講演であったと確信しています。

午後の部では、参加者をグループ分けしてのグループラーニング(グループディスカッション)を行いました。

以下の4つのテーマ、

- ① ロータリーの奉仕の哲学である「超私の奉仕(Service above self)」
- ② 4つのテストの具体的な実践例
- ③ 実施したい奉仕活動
- ④ 午前中の講演で得た学び

について、各テーブルのファシリテーター(事前選出)の案内/進行のもと、参加者からの活発な意見出し、それをまとめて全員の前でグループ毎に発表していただきました。ロータリー歴の浅い参加者からは、初めて「超私の奉仕」に込められた理念に触れて理解が深まったという感想も聴けました。

セミナー終了後にアンケートを実施させていただきましたので、その結果を報告させていただきます。回答をいただいた参加者の方々、この場を借りまして感謝を申し上げます。

<今回のセミナーに対するアンケート集計結果>

| ①セミナー満足度 | |
|----------|-----|
| とても不満 | 0% |
| 不満 | 6% |
| 普通 | 29% |
| 満足 | 29% |
| とても満足 | 36% |



- ②このセミナーで、何らかの「気付き」を得られましたか？
→回答者の全員が、「気付き」を得られたと回答
- ③このセミナーに関する以下の項目について、どのくらい満足されましたか？
→講演に対する満足度が一番高く、回答者の半数から最高評価をいただきました。

ひたちなかロータリークラブ創立30周年記念式典

1月19日R I.第2820地区 大高司郎ガバナー、大谷明ひたちなか市長や三沢博樹県立勝田特別支援学校長ら来賓と会員22名の出席で、創立30周年記念式典が執り行われた。

記念式典は11時20分、開始宣言によって開始され、点鐘、国歌斉唱、ロータリーソングと続く。

小林会長は、「1994年11月29日に勝田ロータリークラブをスポンサークラブとして35名の会員をもって設立総会を開催し、同年12月R Iへの加入が承認され正式に発足、1995年4月認証状伝達式を挙行。現在22名の会員数で6名のチャーターメンバーが在籍中。今後もロータリーの原点に立ち返り、承前啓後の言葉を胸に変えるべきは変え、奉仕の理想を高く掲げ、地域のニーズに応え社会に貢献できるよう、奉仕活動を実践して参ります所存でございます。」と挨拶した。

大高司郎ガバナーは挨拶で国際ロータリーステファニーA. アーチック会長からのメッセージを紹介。

実行委員長による記念事業報告は、1. ロー

タリー財団へ寄付 2. 米山記念奨学会へ寄付 3. ひたちなか市へ寄贈（ひたちなか市役所内にキッズスペースに幼児用の身長体重計や未就学児用の大型絵本などを寄贈） 4. 茨城県立勝田特別支援学校へiPadを寄贈と報告。各目録を小林会長からそれぞれ贈呈した。

式典終了後、記念祝賀会が開催され、JAZZピアニストと市内出身のトランペッターの演奏に出席者は聞き入り、式典は成功裏に終了した。

(会長 小林 英雄)



鹿島中央ロータリークラブ創立30周年記念式典

2025年2月2日(日)、第2820地区大高司郎ガバナーを始め、田口伸一 鹿嶋市長・小松崎敏紀 茨城県議会議員他多くの来賓のご臨席を頂き、鹿島中央ロータリークラブ創立30周年記念式典を執り行いました。

当日は悪天候予想にて、ご来賓方々の駐車場からのご移動等が大変心配されましたが、鹿島神宮大神様のご加護により、曇り空に変えて頂きスムーズに入館出来ました。

第一部は、佐藤会長式辞、物故会員への黙祷、記念事業目録贈呈、歴代会長への感謝状、来賓祝辞は大高ガバナー・田口鹿嶋市長より頂き、厳かに執り行うことができました。

第二部の記念事業は“次世代に想いを伝え、未来を託す取組み”と題して始めに、「4つのテスト」に関する高校生論文コンクール：令和6年度最優秀論文の本人朗読です。当クラブ、3年前より、市内高校生に「4つのテスト」の論文募集を計画しました。初年度は、清真学園に募集をして応募数40作品の中から優秀作品5人を選出し表彰致しました。2年目は、市内4校(鹿島・鹿島灘・鹿島学園・清真学園)に募集を広げました。

結果117通の応募があり、会員審査により、最優秀賞1名、審査委員長賞2名、優秀賞9名を選出し、その中から、最優秀賞の鹿島学園の生徒に朗読頂きました。

次に、清真学園音楽部のコンサートを行い、クラシックからジャズまで幅広くロータリー会員に、親しまれる曲を演奏頂き、しばしの憩いを愉しみました。

その後、祝宴に入り、始まりは、日本相撲協会元立呼出拓郎のお祝い太鼓と呼出し、鹿嶋相撲甚句会による相撲甚句で幕開けし、親クラブ鹿島臨海ロータリークラブ柳堀利勝会長の祝辞を頂き、第8分区ガバナー補佐金子大作様の乾杯にてスタート致しました。各テーブル共会員同志、和気あいあいのもと、ゆっくりと、親睦を深めさせて頂きました。

最後に、準備に万全を尽くしたつもりですが、不手際も有ったと事と申します。

式典に参加された、多くのロータリアンの友情に甘えさせて頂き、無事終了出来ました事、感謝申し上げます。(幹事 飛田喜代志)



ガバナーノミニー・デジグネート確定宣言

国際ロータリー第2820地区

ガバナー 大高 司郎

指名委員長 中村 澄夫

第6分区 土浦南ロータリークラブより推薦を受けた、ガバナーノミニー・デジグネートについて、ガバナー指名委員会で審議され承認されました。3月の月信での公示を経て、清野宏之氏が国際ロータリー第2820地区ガバナーノミニー・デジグネートに確定致しましたことをここに宣言致します。



氏 名 : 清野 宏之 (きよの ひろゆき)

所属クラブ : 土浦南ロータリークラブ

生年月日 : 1959年4月12日

入会年月日 : 2001年12月8日

職 業 : 清野宏之税理士事務所 所長

住 所 : 茨城県土浦市

職業分類 : 税理士

最終学歴 : 明治大学大学院経営研究科

ロータリー歴

2014～2015年度 土浦南RC 幹事
2019～2020年度 土浦南RC 会長
2024～2025年度 第6分区ガバナー補佐

その他

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (5回)
ベネファクター
ポール・ハリス・ソサエティ
ポリオ・プラス・ソサエティ
マルチプル米山功労者 (4回)

インフォメーション

◇ 4月～5月のスケジュール ◇

- | | |
|---|---|
| 4月 5日 (土) 結城RC 創立60周年記念式典 (ダイヤモンドホール) | 4月26日 (土) RAC 関東ブロック研修会 (水戸市民会館) |
| 4月 6日 (日) 北茨城RC 創立50周年記念式典 (五浦観光ホテル別館大観荘) | 5月10日 (土) RAC 年次大会 (ホテル テラス ザ スクエア日立) |
| 4月13日 (日) 2025-26年度 地区研修・協議会 (つくば国際会議場) | 5月22日 (木) 水戸好文RC 創立15周年記念式典 |
| 4月15日 (火) 地区大会記念ゴルフ大会 (大洗ゴルフ倶楽部) | 5月25日 (日) 友部RC 創立40周年記念式典 (地域交流センターともべ「トモア」) |
| 4月17日 (木), 18日 (金) クラブ活性化セミナー 2025 (JPタワーホール&カンファレンス) | 5月27日 (火) 土浦南RC 創立60周年記念式典 |
| 4月18日 (金) 2024-25年度 第3回ガバナー会議 (JPタワーホール&カンファレンス) | |



国際ロータリー第2820地区 戦略計画委員会報告

委員長 高橋 賢吾

ガバナー事務所の固定化について

地区戦略計画委員会では、ガバナー事務所の固定化(一本化)を答申し、大高ガバナー、瀬戸ガバナーエレクト、藤木ガバナーノミニの承認を得た後、諮問委員会において諮問委員の了承を得て決定いたしました。

固定化の内容

1. ガバナー事務所とガバナーエレクト事務所を一か所の事務所に統合する。
2. 事務所所在地は水戸駅周辺とする。
3. 事務局員は2名とする。
4. 2027-28年度より実施予定とする。

地区事務所の固定化は、国内34地区のうち27地区が採用しており（7地区のみ未実施：実施率80%）、その効果がいかに多大であるかを示しています。この固定化により、一か所分の費用で事務所を運用できるようになり、また、ガバナーエレクト事務所の初期費用が不要となることでエレクトの負担も軽減されます。したがって、この事務所固定化によって多額の経費削減が見込まれます。

近年、会員数の減少や物価・人件費の高騰により、地区の予算は緊迫しています。また、クラブ会員の負担増を避けるために地区協力金も長年据え置いています。このような状況を打開するためにも、事務所の固定化は地区運営の持続可能性を確保する上で不可欠です。

本趣旨をご理解の上、事務所の固定化にご賛同とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◇ 新 会 員 紹 介 ◇ Enjoy Rotary

(敬称略)



水戸好文RC

中村 友美

■入会日
2025年1月1日

■職業分類
建設業



水戸東RC

金子健太郎

■入会日
2025年1月9日

■職業分類
外科医



古河RC

菊池 裕子

■入会日
2025年1月10日

■職業分類
僧侶

計 報

謹んでお悔やみ申し上げます。



真壁RC

大塚 忍

(享年 73才)

1952年12月15日生
2025年2月19日ご逝去
1999年8月24日入会
建築設計士

■ロータリー歴
2009-2010年度 クラブ会長
第5分区 チーフセクレタリー2回
100%出席 (22年)

■寄付歴
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー4回
ベネファクター1回
米山功労者5回



国際ロータリー第2820地区

2024-25年度

My ROTARY 登録状況

※データは3/16現在のMy ROTARYに基づく



2025年3月16日現在

| | クラブ名 | 会員数 | 登録人数 | % |
|------|------|-----|------|-------|
| 第1分区 | 日立 | 69 | 62 | 89.9 |
| | 日立南 | 36 | 34 | 94.4 |
| | 高萩 | 35 | 34 | 97.1 |
| | 北茨城 | 26 | 26 | 100.0 |
| | 日立港 | 33 | 28 | 84.8 |
| | 日立北 | 27 | 25 | 92.6 |
| | 日立中央 | 21 | 15 | 71.4 |
| | 合計 | 247 | 224 | 90.7 |

| | クラブ名 | 会員数 | 登録人数 | % |
|------|-------|-----|------|-------|
| 第2分区 | 那珂湊 | 17 | 14 | 82.4 |
| | 常陸太田 | 31 | 20 | 64.5 |
| | 大子 | 25 | 24 | 96.0 |
| | 大洗 | 15 | 6 | 40.0 |
| | 勝田 | 28 | 28 | 100.0 |
| | 東海那珂 | 34 | 33 | 97.1 |
| | ひたちなか | 22 | 22 | 100.0 |
| | 合計 | 172 | 147 | 85.5 |

| | クラブ名 | 会員数 | 登録人数 | % |
|------|-------|-----|------|-------|
| 第3分区 | 水戸 | 125 | 101 | 80.8 |
| | 笠間 | 19 | 18 | 94.7 |
| | 水戸西 | 70 | 67 | 95.7 |
| | 水戸南 | 77 | 77 | 100.0 |
| | 友部 | 19 | 19 | 100.0 |
| | 水戸東 | 62 | 57 | 91.9 |
| | 水戸さくら | 26 | 26 | 100.0 |
| | 水戸好文 | 16 | 15 | 93.8 |
| | 合計 | 414 | 380 | 91.8 |

| | クラブ名 | 会員数 | 登録人数 | % |
|------|------|-----|------|-------|
| 第4分区 | 古河 | 51 | 41 | 80.4 |
| | 境 | 31 | 21 | 67.7 |
| | 岩井 | 9 | 1 | 11.1 |
| | 古河東 | 47 | 39 | 83.0 |
| | 古河中央 | 50 | 50 | 100.0 |
| | 合計 | 188 | 152 | 80.9 |

| | クラブ名 | 会員数 | 登録人数 | % |
|------|--------|-----|------|-------|
| 第5分区 | 下館 | 26 | 25 | 96.2 |
| | 結城 | 23 | 22 | 95.7 |
| | 真壁 | 14 | 11 | 78.6 |
| | 下妻 | 66 | 61 | 92.4 |
| | しもだて紫水 | 51 | 50 | 98.0 |
| | 筑西きぬ | 14 | 14 | 100.0 |
| | 岩瀬 | 17 | 16 | 94.1 |
| | 合計 | 211 | 199 | 94.3 |

| | クラブ名 | 会員数 | 登録人数 | % |
|------|----------|-----|------|------|
| 第6分区 | 石岡 | 16 | 12 | 75.0 |
| | 土浦 | 47 | 44 | 93.6 |
| | 土浦南 | 88 | 87 | 98.9 |
| | つくば学園 | 105 | 94 | 89.5 |
| | 石岡87 | 26 | 25 | 96.2 |
| | 土浦中央 | 12 | 10 | 83.3 |
| | つくばシティ | 58 | 57 | 98.3 |
| | 阿見 | 14 | 6 | 42.9 |
| | つくばサンライズ | 17 | 12 | 70.6 |
| 合計 | 383 | 347 | 90.6 | |

| | クラブ名 | 会員数 | 登録人数 | % |
|------|-------|-----|------|-------|
| 第7分区 | 電ヶ崎 | 34 | 19 | 55.9 |
| | 水海道 | 50 | 33 | 66.0 |
| | 取手 | 16 | 16 | 100.0 |
| | 牛久 | 39 | 35 | 89.7 |
| | 守谷 | 3 | 2 | 66.7 |
| | 龍ヶ崎中央 | 12 | 11 | 91.7 |
| | 合計 | 154 | 116 | 75.3 |

| | クラブ名 | 会員数 | 登録人数 | % |
|------|------|-----|------|------|
| 第8分区 | 鉾田 | 27 | 15 | 55.6 |
| | 鹿島臨海 | 41 | 19 | 46.3 |
| | 玉造 | 9 | 7 | 77.8 |
| | 波崎 | 16 | 9 | 56.3 |
| | 鹿島中央 | 22 | 16 | 72.7 |
| | 合計 | 115 | 66 | 57.4 |

| | | | | |
|--|----------|----|---|------|
| | 茨城ロータリーE | 10 | 8 | 80.0 |
|--|----------|----|---|------|

| | 会員数 | 登録人数 | % |
|-------------|------|------|------|
| 地区合計 | 1894 | 1639 | 86.5 |



国際ロータリー第2820地区

2024-25年度
会員増強報告

地区目標
純増100名

※データは3/13現在のMy ROTARYに基づく

1. ロータリークラブ会員数

2025年3月13日現在

| | クラブ名 | 期首会員数 | 純増 | 3/13会員数 | 内女性会員数 |
|------|------|-------|----|---------|--------|
| 第1分区 | 日立 | 68 | 1 | 69 | 2 |
| | 日立南 | 34 | 2 | 36 | 4 |
| | 高萩 | 26 | 9 | 35 | 1 |
| | 北茨城 | 26 | 0 | 26 | 3 |
| | 日立港 | 33 | 0 | 33 | 2 |
| | 日立北 | 27 | 0 | 27 | 1 |
| | 日立中央 | 18 | 3 | 21 | 3 |
| | 合計 | 232 | 15 | 247 | 16 |

| | クラブ名 | 期首会員数 | 純増 | 3/13会員数 | 内女性会員数 |
|------|-------|-------|----|---------|--------|
| 第2分区 | 那珂湊 | 19 | -1 | 18 | 1 |
| | 常陸太田 | 28 | 1 | 29 | 6 |
| | 大子 | 21 | 5 | 26 | 2 |
| | 大洗 | 17 | -2 | 15 | 0 |
| | 勝田 | 26 | 2 | 28 | 4 |
| | 東海那珂 | 32 | 2 | 34 | 0 |
| | ひたちなか | 20 | 2 | 22 | 2 |
| | 合計 | 163 | 9 | 172 | 15 |

| | クラブ名 | 期首会員数 | 純増 | 3/13会員数 | 内女性会員数 |
|------|-------|-------|----|---------|--------|
| 第3分区 | 水戸 | 120 | 5 | 125 | 5 |
| | 笠間 | 15 | 4 | 19 | 1 |
| | 水戸西 | 68 | 2 | 70 | 13 |
| | 水戸南 | 76 | 1 | 77 | 11 |
| | 友部 | 18 | 1 | 19 | 0 |
| | 水戸東 | 66 | -4 | 62 | 4 |
| | 水戸さくら | 26 | 0 | 26 | 4 |
| | 水戸好文 | 17 | -1 | 16 | 14 |
| | 合計 | 406 | 8 | 414 | 52 |

| | クラブ名 | 期首会員数 | 純増 | 3/13会員数 | 内女性会員数 |
|------|------|-------|----|---------|--------|
| 第4分区 | 古河 | 45 | 6 | 51 | 5 |
| | 境 | 31 | 0 | 31 | 0 |
| | 岩井 | 9 | 0 | 9 | 2 |
| | 古河東 | 47 | 0 | 47 | 14 |
| | 古河中央 | 47 | 3 | 50 | 5 |
| | 合計 | 179 | 9 | 188 | 26 |

| | クラブ名 | 期首会員数 | 純増 | 3/13会員数 | 内女性会員数 |
|------|--------|-------|----|---------|--------|
| 第5分区 | 下館 | 24 | 2 | 26 | 4 |
| | 結城 | 23 | 0 | 23 | 0 |
| | 真壁 | 14 | 0 | 14 | 0 |
| | 下妻 | 63 | 4 | 67 | 7 |
| | しもだて紫水 | 52 | -1 | 51 | 4 |
| | 筑西きぬ | 12 | 2 | 14 | 3 |
| | 岩瀬 | 19 | -2 | 17 | 0 |
| | 合計 | 207 | 5 | 212 | 18 |

| | クラブ名 | 期首会員数 | 純増 | 3/13会員数 | 内女性会員数 |
|------|----------|-------|----|---------|--------|
| 第6分区 | 石岡 | 16 | 0 | 16 | 0 |
| | 土浦 | 43 | 5 | 48 | 10 |
| | 土浦南 | 86 | 2 | 88 | 7 |
| | つくば学園 | 99 | 6 | 105 | 4 |
| | 石岡87 | 25 | 1 | 26 | 0 |
| | 土浦中央 | 10 | 2 | 12 | 0 |
| | つくばシティ | 55 | 3 | 58 | 8 |
| | 阿見 | 15 | -1 | 14 | 1 |
| | つくばサンライズ | 11 | 6 | 17 | 6 |
| | 合計 | 360 | 24 | 384 | 36 |

| | クラブ名 | 期首会員数 | 純増 | 3/13会員数 | 内女性会員数 |
|------|-------|-------|----|---------|--------|
| 第7分区 | 竜ヶ崎 | 31 | 4 | 35 | 5 |
| | 水海道 | 52 | -2 | 50 | 2 |
| | 取手 | 18 | -2 | 16 | 1 |
| | 牛久 | 37 | 3 | 40 | 3 |
| | 守谷 | 3 | 0 | 3 | 0 |
| | 龍ヶ崎中央 | 8 | 4 | 12 | 3 |
| | 合計 | 149 | 7 | 156 | 14 |

| | クラブ名 | 期首会員数 | 純増 | 3/13会員数 | 内女性会員数 |
|------|------|-------|----|---------|--------|
| 第8分区 | 鉾田 | 27 | 0 | 27 | 0 |
| | 鹿島臨海 | 40 | 1 | 41 | 5 |
| | 玉造 | 8 | 1 | 9 | 1 |
| | 波崎 | 15 | 1 | 16 | 1 |
| | 鹿島中央 | 20 | 2 | 22 | 2 |
| | 合計 | 110 | 5 | 115 | 9 |

| | | | | | |
|--|----------|---|---|----|---|
| | 茨城ロータリーE | 9 | 1 | 10 | 4 |
|--|----------|---|---|----|---|

| | 期首会員数 | 純増 | 3/13会員数 | 内女性会員数 |
|-------------|-------|----|---------|--------|
| 地区合計 | 1815 | 83 | 1898 | 190 |

2. ローターアクトクラブ会員数

| RAC名 | 7/1会員数 | 3/13会員数 | RAC名 | 7/1会員数 | 3/13会員数 |
|-------|--------|---------|------|--------|---------|
| 水戸 | 11 | 11 | 古河地区 | 1 | 1 |
| 下館 | 4 | 3 | 土浦 | 7 | 5 |
| つくば学園 | 6 | 7 | 茨城県北 | 5 | 5 |
| 土浦南 | 7 | 3 | 笠間 | 2 | 2 |
| | | | 合計 | 43 | 37 |

第7分区 バナー紹介



竜ヶ崎ロータリークラブ



竜ヶ崎ロータリークラブの創立は1959年11月25日の
で、もう65年経ちます。

従って、現会員に表題の件を訊ねても、当時の事を明
確には覚えていない会員は限られますが、重鎮の会員に何と
か思い出してもらいました。

まず、全体的な図案として龍の絵が丸く書かれているの
は予想通り、龍ヶ崎市の龍に因んでこれを中心に描こうと
したからだそうです。

そして、具体的に絵を書いてもらったのは、茨城県生
まれの服部正一郎画伯だそうです。

二科展で常任理事を務め、勲四等旭日小紋章を受賞さ
れた大変素晴らしい方の絵だった事がこの機会に分かりま
した。今後のロータリー活動の励みにしたいと思います。

水海道ロータリークラブ

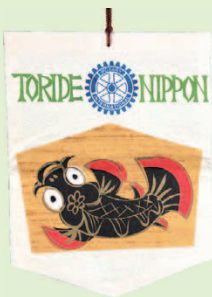


クラブ創立当初のバナーは、ロータリーのマー
クに「水」の字をあしらったものですが、創立
10周年当時、バナーを変えたいという意見が出て、
研究検討の結果出来たものが現在のものです。

鬼怒川と小貝川には生まれた水海道市は、昔か
ら水路を利用して、江戸に通じる要地として繁栄し、
川との関わり合いの深い所です。

鯨は「如拙」の「瓢箪鯨」にあるよう、また幸
を招く魚として、川魚の代表的な魚です。この「鯨」
と「川」が当地の特色を最も的確に表すだろうと
云うことで、東京女子美術学校講師であった増淵
浄子先生が両川の清流に黄金の鯨を配って図案化
したものです。

取手ロータリークラブ



取手は水戸街道の宿場町として陸
路・水路の便により栄え、取手宿を
中心とする新四国相馬霊場（88カ所）
は人心の信仰により賑わいを見せ、
各礼所霊場には大小さまざまな絵馬
が奉納されました。

その絵馬をクラブのバナーの原形
とし、坂東太郎利根川に出世魚である
飛躍する鯉を日本画家東生糸画宝
画伯が当クラブのために彩筆をふる
って頂いたものです。

牛久ロータリークラブ



牛久ロータリークラブは今年40周年を迎えます。

歴史と伝統ある牛久。

牛久市と言えば現在は大仏など知名度がありますがやはり
牛久沼、そしてその牛久沼に居たとされる河童の伝説や牛
久沼にまつわる様々な伝説が今でも語り継がれています。

牛久沼は龍ヶ崎市の西側に位置し、筑波・稲敷台地と猿島・
北相馬台地に囲まれ流れは小貝川につながり水源として長
く利用されています。

伝説と伝統のある牛久市（牛久沼）。

牛久沼の自然、環境を守り広く関係機関と連携し、牛久
沼に親しみ人々と共に心を合わせて地域と共に歩んでいき
たいと心より願いを込めてバナーを作成させて頂きました。

その精神をこれからも代々引き継いで参ります。

守谷ロータリークラブ



認証伝達式パンフレットによりま
す当時の会員であります渡辺丞（わ
たなべすすむ）氏（職業分類アート）
によります作品であります。

なお、伝達式パンフレットには「守
谷町（当時）の町木の松の緑と町花
の山ゆりをデザインしたものです」
と書かれていました。

龍ヶ崎中央ロータリークラブ



龍ヶ崎市は明治以降、茨城県南部
の中心地として栄え、平成において
も首都圏のベッドタウンとして発展
しつづけています。

まさに昇龍の名にふさわしく私た
ちも龍のように力強くロータリーの
心を広める決意を現したいと思っ
ています。

編集後記

皆様のクラブが理念と目標を達成するには、3年継続の戦略計画（行動計画）の重要性が強調されております。ガバナーの思いも深く、次年度へのラーニングが進んでいるこの時期、エレクト、ノミニ様との三者対談を企画いたしました。継続性をどのようにとらえているか等大変興味深い内容となっておりますので、ご活用をお願い申し上げます。

春爛漫、表紙は日立中央RCさん提供のさくらです。100年の市民の努力を実際に見ていただき、また、日立駅前の大高司郎ガバナー事務所にお立ち寄りいただけましたら、大歓迎でございます。

（月信編集委員会 小森勇一）